

と言ったら「うん、いいよ」と答えてくれました。話をしてみても気が合うなと思ったり、同じところで盛り上がりたので、楽しくて時間があっという間でした。今まで話したことのない子と話してみたら気があったので、積極的に声を掛けて、もっと気が合う友だちを見つけたいと思いました。

自分の言葉で友だちを励まそう



東高津中 岩井 英恵

部活の仲間とコミュニケーションのことで悩んだ時期があり、友だちに相談したところ親身になって話を聞いてくれ、「みんな応援しているよ!」と励ましてくれました。それを機に私はこれからはもっと頑張ろうと思うことができました。これからは同じようなことで悩んでいる友だちがいたら相手の立場になって言葉をかけ、自分の言葉で友だちを励まそうと思うようになりました。悩みごとがあったら、友だちに相談することで解決の糸口になるかもしれないことを学びました。言葉の持つ効果やパワーを上手に使っていきたいです。

見た目では話さないのはもったいない



秀明八千代中 藤本 愛

1年生のとき、スピーチコンテストの競争相手になることから、姉妹校の子と話をしませんでした。2年生になり、その姉妹校とイギリス英語研修に行きました。帰国直前にパーティーが開かれ、そのときにコンテストに出場していた子と一緒にいたので、せっかくだからと思ひ話しかけてみると、話しやすく楽しい会話をする事ができました。

しかし、私が話かけたのは帰国する1日前で、少ししか会話ができませんでした。このことから人を見た目やライバルだからという理由で話さないことは、もったいないと改めて感じました。

意味や具体例を自分なりの言葉で



八千代台西中 齊藤 那津樹

私は部活動の部長を務めています。部活で毎週月曜日に日誌を提出しますが、日にちが経つにつれて部員の書く意識が薄れていってしまいました。そこで「日誌を提出して」と伝えましたが、提出してくれる人はなかなか増えませんでした。原因を聞くと「見学で何を書けばいいかわからない」などの意見が出ました。

私はただ提出してもらっただけで、書く本当の意味を考えたことがありませんでした。日誌を書く意

味、書き方の具体例を自分なりに考え、自分なりの言葉で伝えると、提出者が増えました。

思いやり、寄り添うことが大切



八千代東高 サライサイ ノリカ

バスケット部長だった中学時代に仲間との関係が上手くいかず心が折れたときがありました。そんなとき顧問の先生に呼ばれ、「相手にどう思われるかではなく、相手をどう思うかだ」と言われました。そのとき初めて、自分の気持ちより、まず第一に相手を思いやり、寄り添うことが大切なことだと気付きました。高校生になった今でも、そのことを心の中に刻み続けて、いかなるときも、どのような立場に立っても、相手に寄り添い大切に思うことを忘れないようにしています。

相手のことも頭に入れて会話する



睦中 栗飯原 暉

「ちゃんとやれよ!!」その一言に返ってきた反応は反発でした。合唱コンクールの練習で、真剣に歌っていない人がいて、どうしてもしっかり歌ってほしくて厳しく注意したら、相手はもっと反発しました。僕は「この人には良いところをどんどん見つけて、寄り添う感じで注意しよう」と思いました。これからは直接話す場合、どんな風に接するのか、常に相手のことも頭に入れながら会話することが大切だと思いました。

質問を投げかけると会話広がる



村上中 諏訪 真美子

学校の帰りに友達との会話で「昨日の〇〇行ったんだ」と言ってくれた友だちに「そうなんだ」とだけ答え、会話が終わってしまい、気まずい空気になりました。そこで「何をしたの?」と聞いてみると、会話が続き、話が弾んでいきました。

相手が話してくれたことに、返事や相づちだけでなく質問を投げかけると会話はどこまでも広がっていくのだと気付きました。これからは、たくさん質問をして会話を楽しんでいきたいです。

大切なことは、電話や直接会って



阿蘇中 櫻井 涼乃

友だちと遠くへ遊びに行く約束をしたとき、SNSを使って連絡し合いました。しかし、遊びに行く日を友だちが見落としてしま

い、準備がギリギリになってしまった経験があります。当日に買い忘れたものが見つかり、予定が崩れてしまい、残念な気持ちになったことを覚えています。それからは、約束をするときは、電話や直接会って内容を決めるようにしています。今後大切なことは、電話や直接会って決めるようにしたいです。

素直に聞き、言葉を選んで言おう



村上東中 衛藤 杏花

清掃のリーダーを友だちがやることになっていたのに「やっぱり私やらないから!」と仕事を投げ出され、私は「なんで?やるって決めたのに?どうして?」と思い、強い口調で次々と思ってもないことまで言ってしまいました。後で聞くと、友だちは私の言い方がきついついていたそうです。振り返ると、もっと冷静に相手の話をちゃんと聞けばよかったです後悔しました。

この出来事から、自分の意見はきちんと言葉を選んで言うこと、相手の話を素直に聞くことで、勘違いも未然に防げることを学びました。

スルーしないで、返事は返して!



千葉英和高 地蔵堂 美晴

高校1年生の夏、中学の後輩の夏季大会の応援に行くのに、中学の頃の友だちと差し入れする話をSNSでしていました。友だちはそのことについてスルーした上、全く関係ない話をしたため、私は嫌な気分になりました。

返事がないということは行きたくないってことかなと、いろいろ考えたりもしました。

その後、私がそのことを伝えてきちんと話し合い解決しましたが、ささいなことであっても返事は返すべきだと思いました。

聞いてほしいときは、まず自分から



秀明八千代高 田崎 彩夢

「お願いします」と正直に言うてみました。いつもはとりとめのないことを話す母と真剣に話がしたくて、自分の志望職業や目標を話しました。思いが伝わったのか、真剣な顔で聞いてもらえました。進路のことは難しいと思っていたけど、母のアドバイスもあり、簡単に決められました。話し終わると、ふと「うれしい」と感じました。真剣に聞いてもらえることがこんなにうれしいことだと思いませんでした。これからは、相手に聞いてほしいことがあるときは、まず自分がその姿勢を見せることから始めたいです。



■全てスマホに頼るのではなくて



新木戸小 大楠 菜月

大手携帯電話会社の通信障害が話題となりました。私はニュースを見て、スマホがないと連絡手段が無くなったり、道案内のための地図機能が使えなくなったりして、困ってしまった人がたくさんいたことがわかりました。

いつ通信障害が起きても慌てずにすむよう、平日頃からすべてスマホに頼るのではなく、ほかの手段も考えておくことが必要だと思いました。

■相手の気持ちをもっと考えて



南高津小 山田 隆聖

毎日のように、学校でいじめられた子どもが自殺するニュースを見ます。なぜこんなひどいことをするのか考えられません。

相手の気持ちをもっと考えてほしいです。そうすれば、みんないじめなどしないと思います。いじめをしているのを見かけたら注意していきたいです。

■自分の感情を運転にぶつけないで



村上小 村田 紗季

ニュースで、あおり運転や、交通事故が多発しているとよく聞きます。亡くなってしまう人や悲しむ人、迷惑だと思ふ人が多いの

で、交通事故を起こさないように、運転には気を付けてほしいです。また、自分の感情を運転にぶつけるのはやめてほしいなと思いました。それが原因であおり運転が起こるのだと思います。

■衝撃的だった「教科書を信じない」



八千代松陰高 愛川 侑生

期末試験の期間中、本庶佑さんがノーベル賞授賞式でストックホルムに到着したというニュースを見ました。以前聞いた本庶さんの「教科書を信じない」という言葉は、衝撃的でした。同時に、自分の目で確かめながら進むことは、大事なことだと気付かされた言葉でもありました。

70歳を過ぎた方が凛とした態度で会見に臨んでいる姿に、その言葉が思い出されました。試験勉強への気持ちが少し変わった気がしました。